



地域研究集会

第31回熊野灘の漁業を考える

三重県におけるマガキ養殖の現状と課題

日時：2025年2月15日（土）13:00～17:00（受付12:00～）

場所：三重県伊勢庁舎401会議室（伊勢市勢田町628番地2）（対面とオンラインの併用方式）

共催：三重県水産研究所，熊野灘漁業を考える会

後援：三重県漁業協同組合連合会

コンピーナー：土橋靖史，舘洋，阿部文彦（三重水研），山川卓（東大院農），伊藤宣毅（考える会）

問合せ先：三重県水産研究所 阿部・舘 Tel: 0599（53）0016; E-mail: suigi@pref.mie.lg.jp

- | | | |
|---------|--|-------------|
| 1. 挨拶 | 木村伸吾（一般社団法人水産海洋学会会長） | 13：00～13：05 |
| 2. 趣旨説明 | 舘洋（三重水研） | 13：05～13：15 |
| 3. 話題提供 | | |
| | 座長：津本欣吾（三重県水産振興事業団） | |
| (1) | 2017年に始まった黒潮大蛇行と三重県沿岸域における海況の経過
駒田文菜（三重水研） | 13：15～13：35 |
| (2) | 三重県におけるマガキ養殖漁場の環境
坂下奨悟（三重水研） | 13：35～13：55 |
| (3) | 三重県におけるマガキ養殖の現状とこれまでの取組
岡野健次（三重水研） | 13：55～14：25 |
| | （休憩） | 14：25～14：35 |
| | 座長：土橋靖史（三重水研） | |
| (4) | 浦村における養殖マガキの産卵と成長～10年前と現在～
松本才絵（水産機構技術研） | 14：35～14：55 |
| (5) | 他海域における先進事例 | |
| | ①（宮城県）宮城県志津川湾戸倉地区のカキ養殖～1／3革命～
太齋彰浩（サステナビリティセンター/東北大学） | 14：55～15：15 |
| | ②（広島県）三倍体牡蠣の魅力について
森尾龍也（森尾水産） | 15：15～15：35 |
| (6) | 養殖カキのブランド化戦略
浜口昌己（福井県立大） | 15：35～15：55 |
| | （休憩） | 15：55～16：05 |
| 4. 総合討論 | | |
| | 座長：山川卓（東大院農），竹内泰介（三重水研） | 16：05～16：55 |
| 5. 挨拶 | 土橋靖史（三重水研） | 16：55～17：00 |

開催趣旨：近年，三重県におけるカキ養殖では漁場環境の変化（高水温化，貧栄養化）に伴ってへい死が多発するなど，生産性の低下が生じている．環境変化に対応しながら将来にわたってカキ養殖を継続していくためには，現状を把握して課題を明らかにしたうえで，新たな技術の導入についても検討する必要がある．本研究集会では，漁場環境の変化，カキ養殖の現状とへい死対策の取組，関連する新たな取組などの報告と関係者間での意見交換を通じて，今後のカキ養殖の在り方を討議する場としたい．